

県立大学第一期生275人が誕生 ①



藤井学長の式辞



中沖県知事の告辞

が開学するなど、
高等教育関係の整
備が一段と進めら
れています。

このほか、県内では昨年高岡市戸出で開学した高岡法科大学（桑田三郎学長、法学部二一〇人）に続いて、本年四月には、大山町東黒牧に富山国際大学（佐々学学長人文学部二九七人）

緊張した面持ちで式を終えた学生達は、さっそく最先端の研究設備が整った学舎を見学してまわり、「富山のエジソンを目指すぞ」と意気込みを語り合っていました。

公立としては日本海側初の工学部を持つ大学であり、二十一世紀に向けての科学技術の新たな拠点として、県内外から大きな期待が寄せられています。

富山県立大学の入学式が四月十六日、小杉町黒河の同大学大谷講堂で行われ、第一期生二七五人が誕生しました。
式には真新しいスーツに身を包んだ新入生や父母ら約五〇〇人が出席。
藤井澄二学長の「新しい歴史の一ページをつくる主人公として、私たちとともに科学技術の偉大な未知への挑戦に取り組み、本学を育ててほしい」との式辞のあと、来賓の祝辞に続いて、入学生を代表して工学部電子工学科の水野間康代さんと短期工学部環境工学科の田村真美さんが答辞を述べました。